

スマートインターチェンジ設置推進特別委員会中間報告

委員長 四竈 英夫
副委員長 菅野 恭子
委員 保科善一郎・澁谷政義
大野栄光・菊地忠久
松野久郎・佐久間儀郎

定例会初日（12月8日）、スマートインターチェンジ設置推進特別委員会の活動経過について、四竈英夫委員長より中間報告がなされました。報告の内容については、次のとおりです。

平成29年11月29日に委員会を開催し、関係部長等の出席を得て、スマートインターチェンジ設置に係る現状について報告を受け、議員共通の認識を深め、当局との情報の共有を図るとともに、今後の進め方について協議した。

会議において、当局より「土地利基礎調査業務」を入札により株式会社復建技術コンサルタントが落札し、業務委託を行なっている旨の説明が

あった。

業務内容は、スマートインターチェンジ整備の必要性の整理や接続位置の検討、候補地の選定、概略設計などが主な内容で、6月1日より作業に着手しているとの報告を受けた。

10月6日に国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所との第1回目の打ち合わせを行い、スマートインターチェンジが設置可能な接続道路を、東北道の既存の横断施設（ボックス）を勘案し、適正な候補地を選定するよう、また、白石市総合計画等の上位計画との関連づけについて指摘を受けたとの報告があった。

指摘事項を踏まえながら、現時点で本市の課題と考えられる、工業の振興、周産期医療の支援、リダンダンシー（代替性）の確保、広域観光の振興についてスマートインターチェンジの必要性や整備効果による候補地評価等から適地の選定に向け、更に関係機関と協議を進めていくことの説明があった。

また、平成30年2月中旬に



四竈委員長の中間報告

仙台河川国道事務所と土地利用基礎調査について2回目の打ち合わせを予定しているとの説明があった。
本委員会の今後の進め方としては、スマートインターチェンジの設置については、多くの段階を踏まなければならず、かなりの時間を要することから、引き続き当局との情報共有、意見交換を行い、時宜を得た活動を行い本事業の円滑な推進を図っていくことを確認したところである。

白石市議会会議録を公開しています。

白石市議会 会議録

検索

市議会のホームページに会議録を公開しております。このページでは、【ことばで探す】を選ぶと、キーワード入力により効率よく目的の会議録を探すことができます。

また、注目のキーワードとして【介護保険】【きょうするくん】などその言葉をクリックすると、会議・発言者・期間で探すこともできます。どうぞご覧下さい。



▲【会議録検索】をクリック



【白石市議会会議録】トップ画面へ



▲市議会のホームページから【会議録検索】をクリック